

学校だより

第 3 2 号

報 徳

R 2. 12. 9

校長 松下 公博

正しく使いましょ！

タブレット一人一台

先日は授業参観・学級懇談会お世話になりました。子ども達の様子を見ていただき、担任の先生の話聞いていただく機会ができてよかったです。お忙しい中お越しいただきありがとうございます。さて、懇談会ですが、一月から一人一台タブレットになります。便利な道具ですが使う上で心配もあります。5月の休校中

貸し出した際は、必要のないサイトを閲覧するなど適切な使い方ができていないことがあります。学校用のタブレットは学校の学習にのみ使用することを心得ておいてほしいと思います。そこで、配付に先立ち全校集会でこんな話をしました。

今授業でタブレットを使っていますが、みなさん上手に使えるようになっていきますね。そのタブレットを来年

一月から一人に一台ずつ貸すことになりました。卒業するまでの間貸しますので大事に使ってください。これまでに学校にはたくさん道具がはいり、とても便利になりました。先生が教師になった三十三年前は、宿題やおたよりなどは手で書いたものを印刷して使いました。それで、とても時間がかかっていました。今はパソコンを使って作るので、時間もかか

らずにきれいにできます。みなさんがこれから自分のタブレットを家に持ち帰るようになる、宿題はプリントではなくタブレットで出すようになるかもしれせん。科学技術の進歩のお陰で、学校ではより分かりやすく教えることができるようになります。このように世の中はどんどん便利になります。みなさんは、これから先どのような道具ができたらいと思えますか？ロボットやタイムマシン、いろいろ考えると楽しくなりますね。未来の便利な道具を使うお話といえば「ドラえもん」です。未来から来たネコ型ロボット「ドラえもん」のポケットには、「タケコプター」「どこでもドア」「スマール

ライト」など、生活に便利にする道具がたくさん入っています。どれも「あったらいいなあ」と思うものばかりです。この「ドラえもん」の話の多くは、のび太君がドラえもんの道具をこっそり借りて失敗をして、大変な目にあうというストーリーです。ドラえもんの便利な道具は、のび太君にとって不幸を呼ぶ道具でもあるのです。なぜのび太君は失敗するのでしょうか。話の中で、のび太くんは、誰かを困らせてやろうとか、自分だけが得をしようと考えて道具を使って失敗します。その道具の目的に合った正しい使い方をしていないのです。道具というのは人を幸せにするために作られます。使い手が正しい

目的で使った時に初めて本当の力を発揮します。道具は、「自分の頑張りの手助けや、困っている人を助けるため」に使わなければいけません。みなさんにお貸しするタブレットはみなさんにとって大切な勉強の道具です。のび太くんのように間違った使い方、失敗しないようにして、自分の勉強の頑張りを助けてくれる道具として上手に使ってほしいと思います。

今後タブレットを持ち帰ることが多くなります。ご家庭でも一度タブレットの使い方について子ども達と話をしていただければと思います。ご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願ひします。